

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス No. 12

2018年2月14日

日本鉄道労働組合連合会

**仲間の声を大切に、元気の出る運動で  
組織拡大の好循環・相乗効果をつくり出し、  
民主化闘争・組織強化拡大に取り組む！**

### ージェイアール・イーストユニオン第4回中央委員会ー

ジェイアール・イーストユニオンは2月9日、都内「港勤労福祉会館」において、第4回中央委員会を開催し、「民主的労働運動を次代に引き継ぐため、ビッグイノベーションを巻き起こし全力をもって組織拡大に邁進しよう！」をスローガンとする、当面の活動方針を決定した。

執行部を代表して菅野執行委員長は、安全最優先の決意をあらためて表明するとともに、春闘については「基準内賃金一人平均3,000円の引き上げることと、グループ会社社員の賃金引上げに寄与する」と決意を述べた。また、民主化闘争について「JR東日本の労使関係において、次の30年には、絶対に今のような階級闘争さながらの労使関係を残してはならない。今でもJR東労組から脱退したときからの理念と信念に何ひとつぶれはない。そのぶれない私たちだからこそ、『改革時の精神』と『鉄道の責任』を次の世代に継承していかなければならない。イーストユニオン運動と、組織そのものを継承していくという強い意思を持ち、次なる30年に向けて組織の将来をつなぐ議論を展開していこう」と、力強く訴えた。

質疑では、6名の中央委員から、安全、春闘、業務課題のほか、JR東労組の36協定問題やストライキ権の動向、あるいは民主化闘争に臨む決意などについて発言があった。

執行部からの答弁の後、国井事務局長は、民主化闘争などの諸課題について、総括答弁を行い、「今こそ、春季生活闘争と連動させ、組織拡大と民主化闘争完遂に向けて取り組みを展開しよう！」と述べた。

委員会宣言を全会一致で採択し、最後に菅野執行委員長のガンバロウ三唱で委員会は成功裡に閉会した。

以上